

Q：後向き症例集積研究とは何ですか？

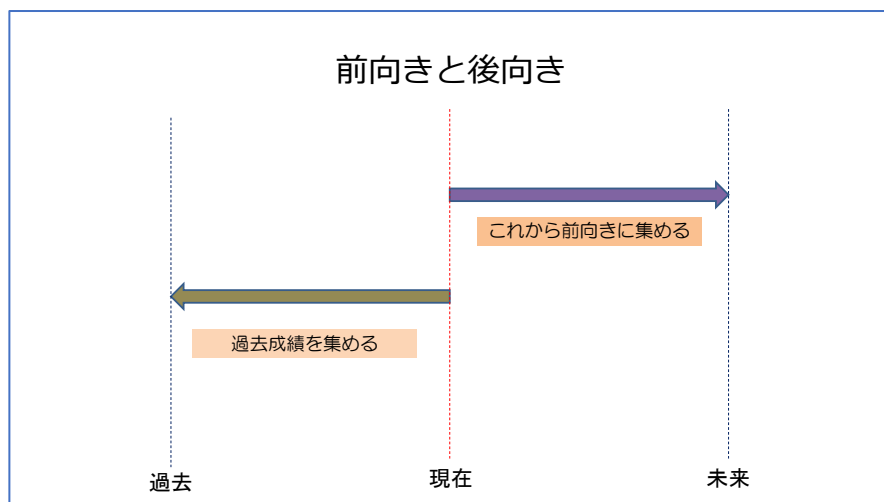
A：カルテを調べて過去の治療成績を比較する研究です。

例)

過去に A 治療を行った症例の効果を検証することを「後向き症例集積研究」と呼びます。臨床研究ですので「比較」が必要です。「教室で行った過去 5 年の A 治療の効果」が良いのか悪いのか「何か」と比較して報告します。

例えば、同時期に行われていた B 治療との比較、現在汎用されている X 治療との比較、過去 5 年とそ

れ以前の 5 年間との比較などがあります。「仮説」を立ててから後向きに症例を集めることをお勧めします。比較をせず、「教室で行った過去 5 年の A 治療の効果は〇〇%だった」だけでは、良いのか悪いのかの判断を他人に委ねることになり、単なる日記と同じです。



- 前向き症例集積で行う第 1-3 相試験のお作法に準じて、後向き研究を行って下さい。
- 原則としてカルテ調査ですので、患者さんの同意は要りません。
- 集める症例数に決まりはありませんが、「仮説」が検証できる症例数が推測できていれば、どこまで過去のデータを調べたら良いのかが分かります。
- 過去の症例では欠落データが多いのが欠点です。